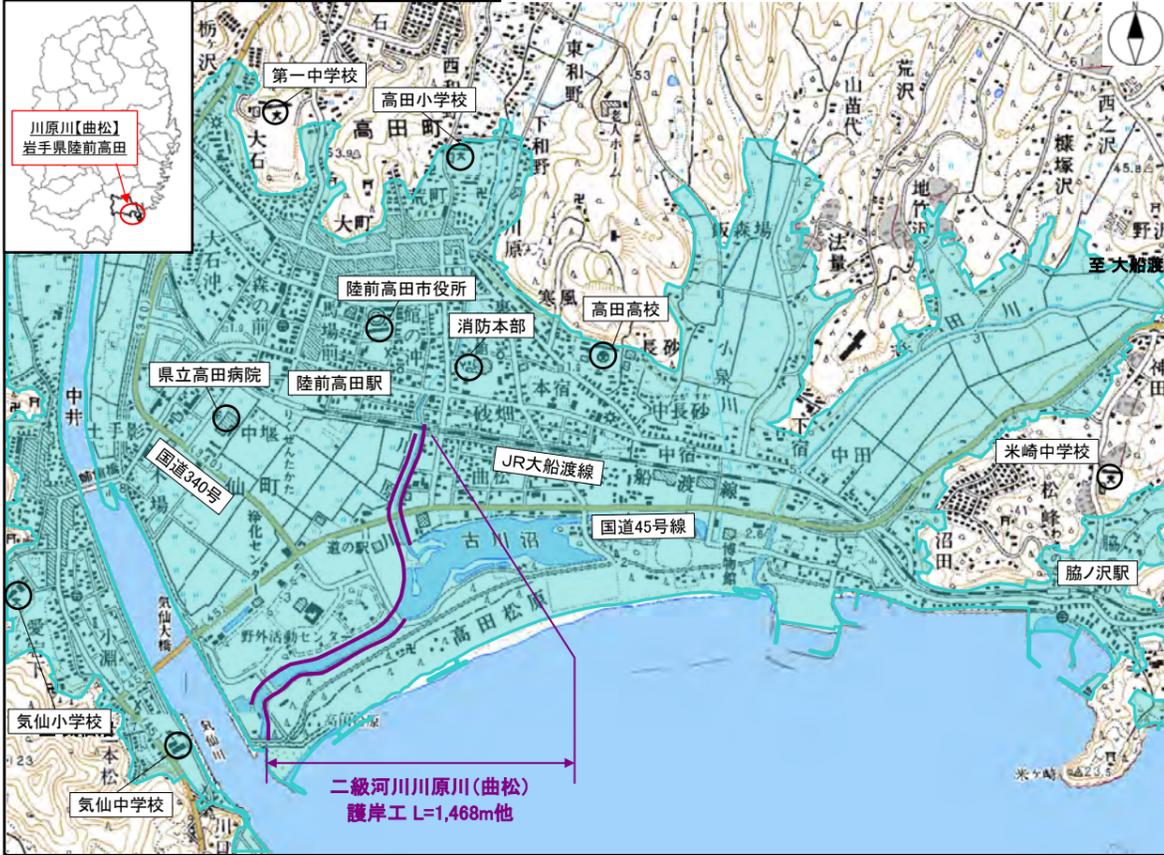


【位置図】（被災前施設状況）



【被災前後比較航空写真】



被災前状況 H22.3.14 撮影

被災後状況 H23.3.29 撮影

【被害状況】

被害状況の区分	市町村名 (地区名)	主な津波防災施設等の整備状況		被害状況(概報)	
		設計基準	整備状況	主な津波防災施設	市街地、住宅地等
壊滅的な被害を受け、集落、都市機能をほとんど喪失した地域	陸前高田市 (高田海岸)	計画津波高 T.P.+5.50m	既存施設高 T.P.+5.50m ・防潮堤 2.0km ・川原川水門 1基 ・浜田川水門 1基 ・陸こう 1基 ・人工リーフ 3基 ・気仙川堤防 2.6km	・防潮堤 全壊 2.0km ・川原川水門 ゲート操作不能 ・気仙川堤防 破壊3箇所(0.8km) ・川原川(古川沼) 消失(1.0km)	・気仙川は金成地区まで津波が遡上(約8km)。 ・市街地のほぼ全域が浸水し、木造家屋はほとんど全壊。 ・鉄筋コンクリート建造物の多くは残存。(水門、市役所、学校、ホテル、ビル等) ・陸前高田駅舎をはじめJR大船渡線の線路のほとんどが流出。 ・津波により気仙大橋等4橋が落橋。 ・高田松原が消失し、市街地や気仙川沿いに土砂が堆積。 ・瓦礫により内陸と繋がる国道340号が通行不能。

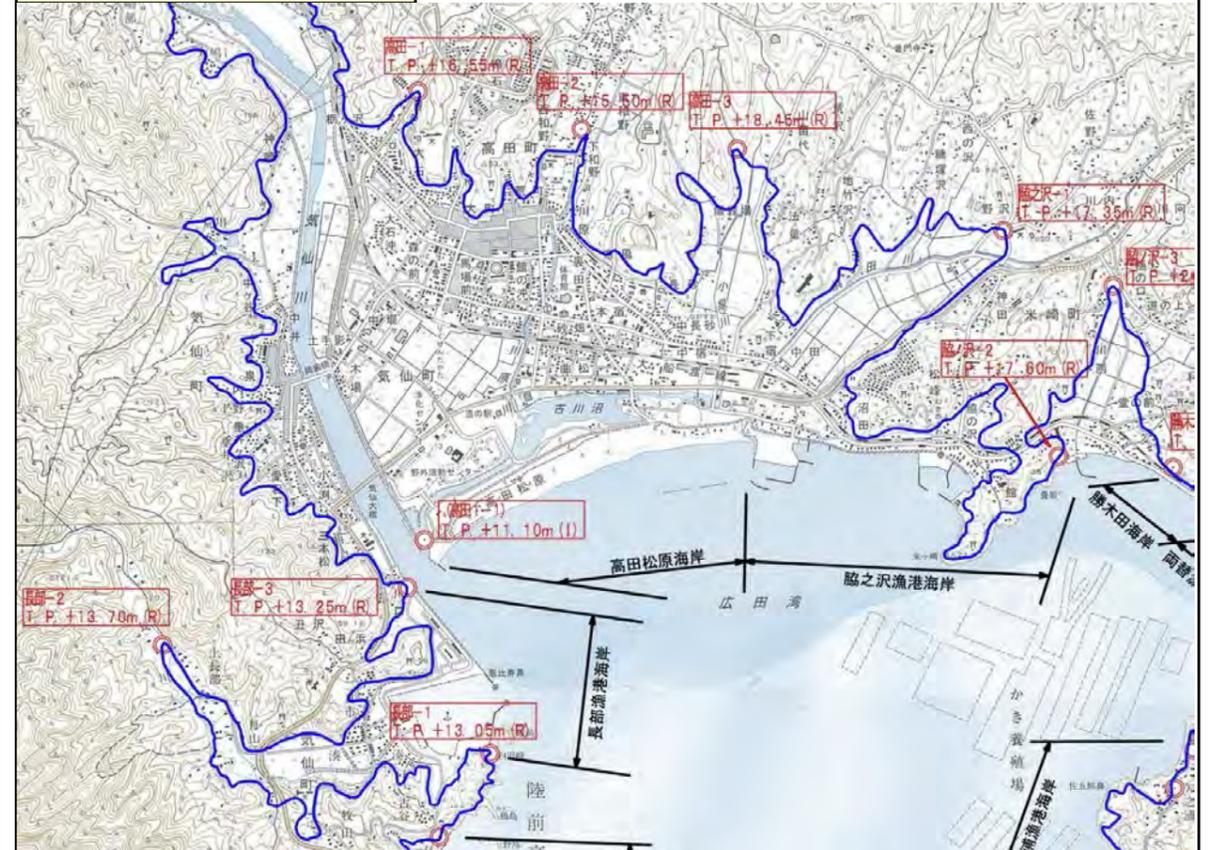
【被災状況写真】



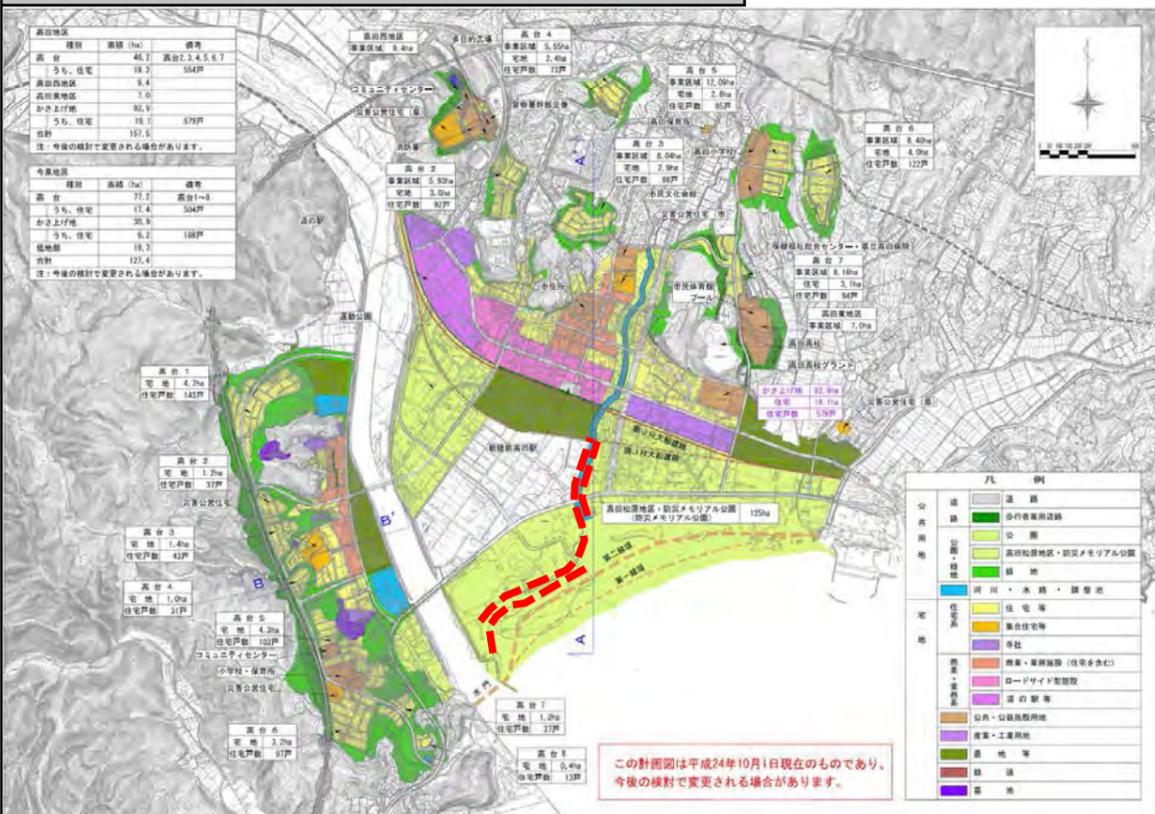
川原川水門

水門本体(ゲート・門柱)は杭式構造のため残存したものと推察される。ゲート操作は不能。

【津波痕跡調査】



陸前高田市復興まちづくり計画 (高田・今泉地区)



この計画図は平成24年10月1日現在のものであり、今後の検討で変更される場合があります。

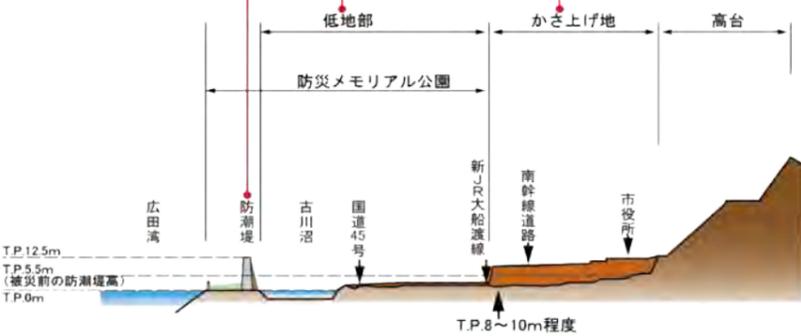
【復旧方針平面図】



A-A'

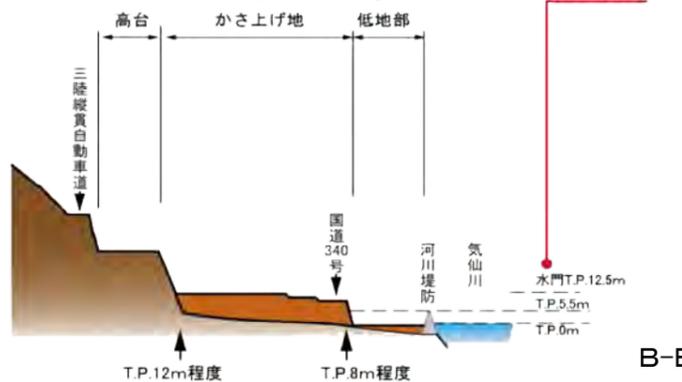
想定宮城県沖地震規模程度の津波を防御

ポケット部 (遊水地) として機能
かさ上げによる浸水の防護
避難道路の整備による高台への円滑な避難



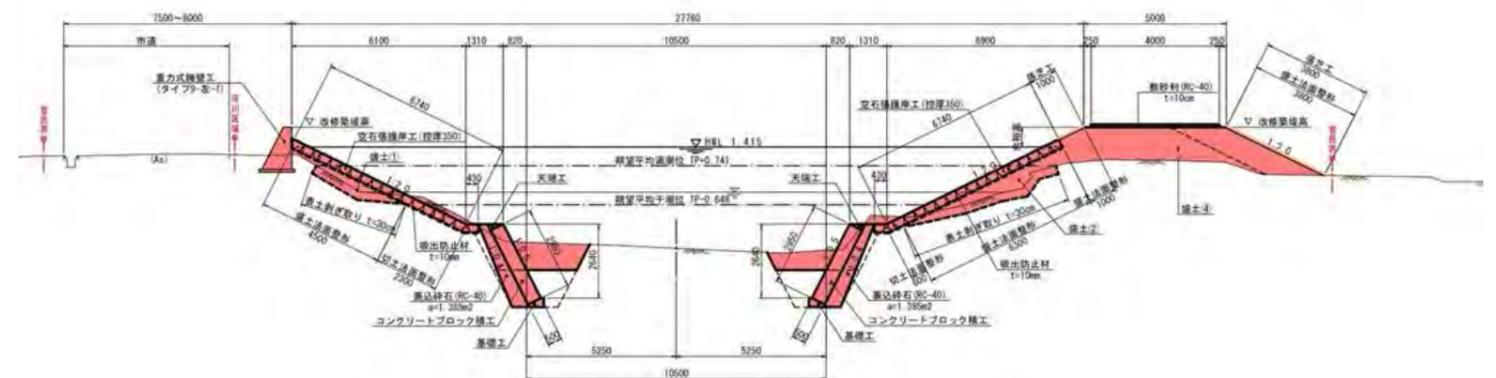
かさ上げによる浸水の防護
避難道路の整備による高台への円滑な避難

ポケット部 (遊水地) として機能
想定宮城県沖地震規模程度の津波を防御



B-B'

上流部断面図



下流部断面図

